

県産ブランド和牛の輸出サプライチェーン構築支援事業

1 事業の目的

アジアを中心に世界的な日本食ブームが続く中、多国間の経済連携協定の締結や二国間協議の進展、外国為替市場における急激な円安など、輸出にかかる社会情勢は日々変化し輸出の機会が拡大しています。

本県ではこれまで、生産者団体や JA 全農等と連携しながら、取組の当初には県外と畜場を経由した輸出の試行や、輸出先国で開催される三重県フェア向けの輸出に取り組み、近年では現地ユーザーや取扱事業者との個別商談等を通して、新型コロナウイルス感染症の影響で毀損した輸出ルートをつなぎ直しや新規輸出ルートの開拓等に取り組む事業者を支援してきました。

しかしながら、将来的な人口減少による国内需要の縮小等を見据え、輸出先の拡大を主眼とする更なる販路開拓が必要と考えられます。

本事業では令和5年度に実施した、新たな輸出先候補国で開催された展示会への県ブース出展等によりコンタクトできた有望な現地商社をハブとして、新たな輸出先国への販路拡大と輸出取組の定着を図ります。

2 事業の内容

県産ブランド和牛のさらなる輸出国拡大に向け、以下の取組を行う。

(1) 有望な輸出先候補国での現地イベントの開催

現地サプライチェーンの構築に向けハブ機能を持つ現地商社等と連携し、高級レストラン等の現地ユーザーを集めた現地イベントを開催し、県産ブランド和牛の歴史や類稀なる食味、生産地での食文化、現地で支持される調理方法などの情報提供を通して、県産ブランド和牛のファンを増やし、さらなる輸出拡大と輸出取組の定着を図る。

(2) 輸出拡大にかかる社会情勢変化への対応を促進

輸出相手国毎の輸出要件や手続き等の変化や新たな輸出可能国等の最新情報を県内事業者へ提供する。

3 事業実施期間

令和6年度

4 事業費（財源内訳）

9,000千円

（うち県費：4,500千円、デジタル田園都市国家構想交付金4,500千円）

※一部、三重県農林水産物・食品輸出促進協議会で実施